おおくさ水土里の会(愛知県小牧市)

- 愛知県北西部の混住化が進む都市的地域の水田地帯。点在する遊休農地から隣接農地への 雑草拡散等により、営農者の生産意欲が低下し、遊休農地の増加が深刻化。
- 遊休農地の解消・防止のため、平成19年度から遊休農地の発生状況把握や草刈り等を実施し、 現在は、平成19年度に3.7haあった遊休農地はすべて解消した。
- 近隣の営農者に遊休農地の耕作を働きかけ、これらの農地では、平成26年度は水稲9トン、野 菜(芋類含む)44トンが生産された。(試算生産額 10.831千円。)
- 〇 本活動への参加者の半数近くは非農業者が占め、地域で環境保全に取り組む意識も向上。

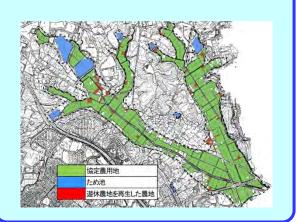
【地区概要】

- •取組面積 94ha (田85ha、畑9ha)
- 資源量 開水路4.2km、パイプライン 17.3km、 農道 21.0km、ため池9筒所
- 主な構成員 自治会、農業者、子供会、婦人会
- ·交付金 約4百万円(H29)

農地維持支払 資源向上支払(共同)

活動開始前の状況や課題

- 〇 混住化が進む都市的地域の水田地 帯であり、遊休農地が点在して発生。
- 遊休農地に繁茂した雑草がスズメの 営巣地となり、水稲の食害が発生。ま た、雑草種子が飛散し、隣接農地にも 繁茂。
- 〇 これらにより、地域の営農者の生産 意欲が低下し、遊休農地の増加が深刻 化。



取組内容

- 〇 平成19年度から遊休農地の発生状 況の把握、解消の取組を開始。
- 〇 游休農地の解消・保全管理のため、 発生場所の現地調査や土地所有者 の情報収集、草刈等を実施。
- 〇 遊休農地の活用のため、近隣の営 農者に、耕作を行うよう働きかけ。



解消された游休農地

取組の効果

【遊休農地の解消面積】

平成19年度:3.7ha ⇒平成24年度以降:0ha



【遊休農地の活用状況】

- ・作付面積(平成26年度) 水田1.9ha、畑1.6ha、樹園地0.2ha
- 生産量・試算生産額(平成26年度) 水稲9トン(2.103千円) 野菜(芋類含む)44トン(8,728千円) ※愛知県の平均的な流通価格より算出

【遊休農地発生防止の活動状況】

- ・参加者数(平成26年度) 48人(農業者27人、非農業者21人)
- 活動は、非農業者が半数近くを占め、地域 で環境保全に取り組む意識が向上。



営農が再開された水田